

## ▼編集後記

『ゲシヒテ』第七号をお届けいたします。諸般の事情により、例年に比べ刊行が遅れました。お忙しいなか早々に原稿をお寄せ下さった方々、たびたびの校正のお願いに快く対応して下さいました執筆者の方々に、あらためて御礼申し上げます。

本号では、一九世紀を扱った論文二本を掲載することができました。近年、二〇世紀史、とりわけ二〇世紀後半の戦後史に関心が集まるなかで、一九世紀という時代について、それぞれの領域からの見取り図を示す貴重な論考であったと思います。他方で、まさにアクチュアルな問題であるエコロジーについての論考、あるいは、戦後史学を振り返るシンポジウム報告も三氏よりお寄せいただくことができ、時代・領域ともバラエティに富んだ誌面構成となりました。

ようやく七号を迎え、少しづつ足場の固まってきた本誌が、学術研究の発表の場、議論の場として定着していくためにも、引き続き、会員諸氏——とくに若手研究者——の積極的な投稿をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。(TN)

本号より編集実務を担当させて頂くことになりました。手際の悪さ等でご迷惑をおかけしたと存じますが、先生方・前任者のSさんに質問させて頂き、編集後記を書く段まで辿り付きました。

論文・書評のみならず、ドイツ現代史学会大会での小シンポジウムを元にした記録までを含み、ドイツ近現代史を考えていく上で非常に示唆的な内容の本号を見ると、後期課程の院生としては積極的に成果を出さねばという思いが生じてきます。編集後記に敢えて書くことではありませんが、例年『ゲシヒテ』を発送する度に一〇名以上の宛先不明による返送を受け取ります。前述のような意義ある諸論文が会員の皆様のお手元に届かないのは望ましくありませんので、ご所属・ご連絡先等変更がありました折には、御面倒なことは存じますが、事務局にご一報頂ければ幸いです。(TY)

## ▼編集委員

服部 伸 (同志社大学)

高橋秀寿 (立命館大学)

中野智世 (京都産業大学)

近藤潤三 (愛知教育大学)

丸島宏太 (敬和学園大学)

## ▼編集実務

山岸智弘 (同志社大学・院)

# ゲシヒテ

## 第7号

2014年3月31日発行

## ▼編集発行

ドイツ現代史研究会 (代表・高橋秀寿)

〒602-8580

京都市上京区今出川通烏丸東入

同志社大学文学部 服部伸研究室内

## ▼印刷

株式会社オーエム